

冬場の浴室事故ヒートショック対策は「Hot ウォール」と「アクリアバス」で

クリナップ（本社：東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員：竹内 宏）の高保温性システムバスルーム「アクリアバス」と、11月1日に新機種を追加したパネル型壁付け暖房機「Hot ウォール」は、ヒートショック事故対策に効果的な商品として、ご好評をいただいています。

寒暖差による血圧の急変動で起こるヒートショック。特に気温が低くなる12月から3月にかけて増加し、全国で年間約17,000人がヒートショックに関連した“入浴中急死”に至ったと推定され、その数は交通事故による死亡者数の3倍以上にもものぼります。ヒートショックを防ぐには、入浴時間を10分以内にすることや、水分をしっかりとってから入浴するなど様々ありますが、一番の対策は居室と脱衣所、浴室の寒暖差をつくらないことです。

※参照：「入浴時の温度管理に注意してヒートショックを防止しましょう」（東京都保健長寿医療センター研究所 2014年9月発行）

【ヒートショック対策におすすめの商品】

① 洗面脱衣室の寒さを解消！壁付け暖房機「Hot ウォール」

厚さわずか18mmとスリムな外観で、ふく射熱により無風、無臭、無音を実現。壁付けタイプなので狭い空間にも設置でき、コード等による転倒事故・火災の防止にもつながります。また表面温度も60℃以下なので、触れても安心。タオル掛けも付いているので、タオルやバスマットの乾燥にも効果的です。

（詳細▶ <http://cleanup.jp/wash/tiaris/function/products.shtml>）



6時間の使用で電気代約32.5円と省エネ設計も魅力

② 浴室内を約1分であたためる「床夏シャワー」

アクリアバスに標準搭載されている「床夏シャワー」は、入浴前に脱衣所でスイッチを押すだけで、カウンターから床にむかって一気にお湯が噴出されます。1分間で床面の温度を10℃→25℃まで上昇させ（当社検証条件による）、寒い冬場でも浴室への一歩目からあたたかく快適です。また床にまかれたシャワーのお湯が蒸気となり、充滿することで浴室全体もあたたまります。

（詳細▶ http://cleanup.jp/bath/aquilia_bath/hot.shtml）

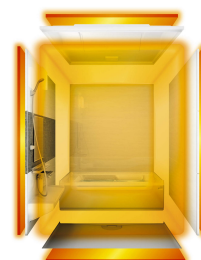


冬場の冷たい床を一気にあたためます

③ 「浴室まるごと保温」で入浴30分後もあたたかさをキープ

アクリアバスは壁、天井、床の裏側まで保温材でしっかり包み込む、「浴室まるごと保温」が標準。入浴後30分経っても、浴室は20℃以上を保ちます（当社検証）。更に、風呂フタや浴槽は保温材で、浴槽下は防水パンで覆っているため、4時間後でも湯温の低下は2.5℃以内（JIS準拠）。冷めにくい浴室で家族全員があたたかく入浴することができます。

（詳細▶ http://cleanup.jp/bath/aquilia_bath/hot.shtml）



保温材でしっかり包まれているから、浴室全体が冷めにくい

クリナップはこれからも、お客様の悩みに耳を傾け、健康面に配慮しつつ、安全で快適な家づくりを目指し、より良い商品やサービスを開発・提案してまいります。

※右記より画像がご入手できます：<http://cleanup.jp/press/>